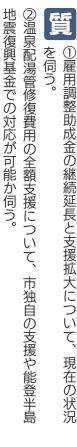
議員 (あすなろ)

般質問

和倉温泉の ■和倉温泉の復活について 「復活」 なしに

能登の 「復興」 はない



泊施設の稼働率は低迷している。その理由を伺う。 動に貢献し、 ③支援業者や公費解体業者の和倉温泉への宿泊が、能登全体の復旧活 宿泊施設の本格営業前にも役立つと見込んでいたが、

①事業者の事業継続と雇用確保は深刻な状況であり、

雇用調整

調査を実施し、集計しているところである。集計結果と罹災証明の全

現在、仮設住宅、

みなし仮設住宅の入居者を含む七尾市全世帯

まちづくりに関するアンケー

を対象とした、今後の住まい、

せ支援もあるので利用していただきたい。 配湯管の修復に、なりわい再建支援補助金が活用でき、 ②温泉配湯管修復は、 の議論が続いており、 助成金について国・県に要望を行っている。 動向を注視する。 復興基金の対象ではないが、各旅館に引き込む 現在、 市独自の上乗 国では制度

政ができる限りの支援と情報発信を行い、 ③和倉温泉宿泊施設の稼働率低迷については で仮設の宿泊施設が整備されたこと」が要因と考える。 く、一人一部屋の場合利用料金の条件が一致しないこと」や「奥能登 宿泊客の増加に努めたい。 「個室での利用希望が強 温泉組合や行

も懸念があるため協議を行っている。

住宅再建には高額な費用が伴う

負担軽減となる新たなメ

能登半島地震復興基金を活用して、

ニューを検討していきたい

相談している。

ただし、

住宅本体及び設置費、

移設費用等の価格面で

能な住宅があり、恒久的な住宅として活用できないか県やメーカーと 仮設住宅の中にはモバイルハウスやムービングハウスといった移動可 壌戸数や地域の要望を踏まえ、建設場所や戸数を検討したいと考える。



■災害公営住宅について



営住宅のほかに市としてどのような計画があるのかを伺う。 地域コミュニティーに合わせた提供は考えているのか。また、 宅ではコミュニティーの形成に苦労があったと聞く。災害公営住宅で 震災前に居住していた地域でまとめるなど配慮が必要と考えるが、 6月会議において災害公営住宅建設のため「住まいの再建の意 向調査」を行うとの答弁であったが、進捗状況を伺う。仮設住



山花 剛

議員 (無会派)